

7/14 *Hirado City Photo News*
英雄の遺徳を偲ぶ



鄭成功記念館前で「鄭成功生誕祭」が台北駐福岡経済文化弁事処の職員や、中国、台湾からの関係者も参加し開催されました。

式典では、台北駐福岡経済文化弁事処の李杰宏^{りけつこう}渉外課長があいさつ。その後、関係者による玉串奉天が行われ、台湾建国の父といわれる鄭成功の遺徳を偲びました。

式典後には、地元園児らによる和太鼓演奏、「中野自安和楽」保存会によるジャンガラも奉納されました。

7/13 *Hirado City Photo News*
川内地区の夏の恒例行事



鄭成功記念館前広場で、鄭成功生誕祭の前夜祭と合わせて「川内かまぼこフェスタ」が開催されました。

鄭成功の生誕を川内地区一帯で盛大にお祝いしようと、地元の青年会や婦人会を中心として行われ、地元の特産の川内かまぼこや、やきそばなども販売するなどして、会場を盛り上げていました。

媽祖行列では、鄭成功、鄭成功の父・鄭子龍、鄭成功の母・田川マツなどに扮した地元の子どもたちが、会場や川内地区旧通りを練り歩き、来場者や台湾からの招待客を楽しませていました。

7/22 *Hirado City Photo News*
小学生チームも大人顔負けのタイム



「館浦競漕船大会2018」が館浦宮の下広場・港内一円で開催されました。

レースでは、練習どおりにタイムが出せたチーム、練習どおりにはいかず真っ直ぐ進めないチームもありましたが、全チーム一丸となってゴール目指して一生懸命頑張っていました。昨年からは小学生チームも参戦し、大人顔負けのタイムを出すなど会場を盛り上げていました。

また、恒例の「魚のつかみ取り」などが開催され、子どもたちは夢中で楽しんでいました。



7/19-23 *Hirado City Photo News*
中学生が絆を深める



鄭成功との歴史的つながりで友好都市となっている「中国福建省南安市」から10人の中学生が平戸市を訪れ、平戸市の中学生と交流しました。

生徒たちは、まず中野中学校体育館で両市の生徒たちがそれぞれの国を紹介。その後クイズやじゃんけんゲームなどで異文化を体験しました。残りの2日間は、市内6校12人の生徒とペアを組み、鄭成功関連施設見学や浴衣体験など、平戸ならではの体験を行いました。中学生たちは、この交流を通して互いに絆を深めました。

7/11 *Hirado City Photo News*
戦没者を追悼



平戸文化センターで「戦没者追悼式」が開催され、戦没者遺族の皆さんや来賓などが参列しました。

式では遺族を代表して、濱本博司さん、松田功さん、針尾文好さん、柴山時美さんが献花。平戸市連合遺族会会長の岡山紀一さんが追悼の言葉を捧げました。また、田助小学校6年生も参列し、献花、献水を行った後、全員で平和を守っていくことを力強く宣言しハンドベル演奏をおこないました。その後、平戸中学校の生徒による追悼演奏も行われ、戦没者を追悼しました。

7/5 *Hirado City Photo News*
水のありがたさに改めて感謝



平戸市社会福祉センターで「第60回水道週間」平戸市水道事業作品表彰式が行われました。

「水道週間」は、厚生労働省が水道に対する理解を深めようと毎年6月1日から7日までを設定しています。平戸市では市内小学校の児童に水に関する作品募集を行い、習字・図画、ポスター・標語の部で合わせて440作品の中から36作品が受賞しました。今回入賞した作品は、日本水道協会などが主催する「第60回水道週間」協賛全国懸賞募集の応募作品として出品されます。